

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

トナミホールディングス株式会社（証券コード:9070）

【変更】

長期発行体格付	BBB+	→	A-
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的
債券格付	BBB+	→	A-

■格付事由

- トラック輸送大手のトナミ運輸を中核子会社とする純粋持株会社。経営・資本などの側面から事業子会社との一体性は強く、当社格付にはグループ全体の信用力を反映させている。北陸、関東、関西、山陽地区を結ぶ路線をグループで、その他地域は地元業者と提携して全国ネットワークを構築している。売上の9割以上を占める物流関連事業を中心に、情報処理事業や販売事業も営む。
- コストコントロールの強化や不採算荷主の見直しなどが奏功し、近年、営業利益の水準が切りあがっている。比較的良好な収益環境を背景に、取扱い貨物量は当面堅調な推移が予想される。人件費や備車費の増加は今後も運賃改定や運行効率の向上などで吸収できる見込みであり、営業利益は当面過去最高益の更新が続く可能性が高い。物流拠点の拡充など高水準の設備投資が想定されるものの、おおむね営業キャッシュフロー程度とみられる。近年財務構成の改善が進んでおり、今後も資本蓄積に伴い良化していく可能性が高い。以上から、格付を1ノッチ引き上げた。格付の見通しは安定的である。
- 19/3期営業利益は65億円（前期比15.4%増）と過去最高益を更新する計画。人件費や備車費の増加が予想されるものの、運賃改定などにより吸収できる見込みである。20/3期も事業環境が大きく悪化する可能性は低いと考えられ、19/3期を上回る利益水準を確保できるものとみられる。
- 自己資本比率は11/3期末38.0%をボトムに19/3期第2四半期末50.7%まで改善した。21/3期を最終年度とする現中期経営計画では、業容拡大に向けて3PL事業の拡大や物流周辺事業の強化に取り組む方針が打ち出されている。中計定量目標の達成に向けてM&Aも想定されるが、財務構成は今後もゆるやかな改善が続くものとみられる。

（担当）加藤 直樹・坪井 悠祐

■格付対象

発行体：トナミホールディングス株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第6回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2016年2月4日	2021年2月4日	0.48%	A-

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2019年1月17日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：千種 裕之
主任格付アナリスト：加藤 直樹
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「陸運」(2011年12月7日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」(2003年7月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) トナミホールディングス株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であってもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル